

生きていくって、むずかしくない。

ミシェル・ピコリ

カトリーヌ・ドヌーヴ

ジョン・マルコヴィッチ

# Je rentre à la maison



2001年カンヌ国際映画祭コンペティション部門正式出品作品

『クレージュの奥方』『アブラハム漢谷』『メフィストの誘い』

マノエル・ド・オリヴェイラ監督作品

アントワヌ・シャペー レオノール・シルヴェイラ シルヴィー・テステュ  
2001年ポルトガル=フランス合作/90分 配給・宣伝:アルシネテラン <http://www.alcine-terran.com>

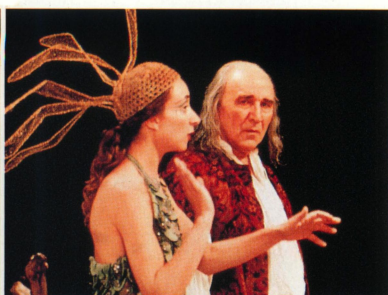
# 家路

現役最長老オリヴェイラが描く、哀歓あふれる過ぎゆく時間への思い





次から次へと役を演じてきた。彼らのささやかな喜びや幸せ、深い苦しみ、耐えがたい悲劇や、つらく厳しい試練を



孫のセルジュは、亡くなった両親と祖母の分まで、私を愛してくれるんだ

## 物語

ジルベール・ヴァランスは、舞台と映画を中心に活躍しているベテラン俳優。今もイヨネスコの『瀕死の王』の舞台に出演中である。そんなある日、ヴァランスは妻と娘夫婦が交通事故で亡くなったとの知らせを受ける。孫のセルジュと2人だけの静かな生活が始まった。寂しいながらも、かわいい孫との暮らしの中で、ヴァランスにささやかな幸せが訪れた。しかし彼は自らの孤独や、年齢とともに変化していく俳優としての現実について、いつしか思いをめぐらせるようになっていく…。

## カンヌも絶賛! ポルトガルの巨匠の近年最高傑作

『アブラハム渓谷』(93)、『メフィストの誘い』(95)、そして『クレーヴの奥方』(99)など、これまで多くの作品を発表してきたマノエル・ド・オリヴェイラ監督は、その度に評価を高め、数々の賞を獲得してきた。今年93歳を迎えるポルトガルの巨匠は、90年代以降、年に1本という驚異的なペースで作品を撮り続けているが、その長年の功績に加え、泉のごとく湧き上がるインスピレーションと創造性、その格調高い映像は、世界の誰もが認めるところである。そして、そんなオリヴェイラ作品の中でも、ここ10年間における最高傑作と2001年のカンヌ映画祭で絶賛され、フランスでも初登場10位のヒットを記録したのが、本作『家路』である。

## ミシェル・ピコリ、カトリーヌ・ドヌーヴ、ジョン・マルコヴィッチら豪華な俳優たち

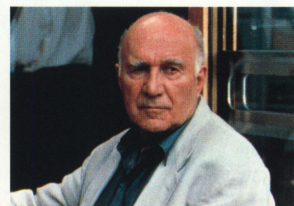
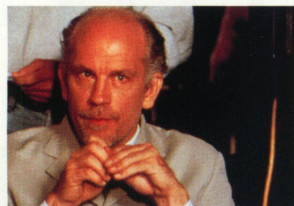
主人公である舞台俳優ジルベール・ヴァランスを演じるのは、フランスを代表するベテラン俳優ミシェル・ピコリ。人生も晩年にさしかかったところで、これからの生活や仕事について自問し始めるヴァランスの孤独や戸惑いが、経験豊かなピコリによって見事に体現されている。またオリヴェイラ監督のオファーに出演を快諾したのが、『メフィストの誘い』のコンビ、カトリーヌ・ドヌーヴとジョン・マルコヴィッチである。ドヌーヴは劇中劇の中で圧倒的な存在感を見せ、マルコヴィッチは抑制の効いた演技で、アメリカ人監督クロフォードという人物に独特の雰囲気を与えている。

## オリヴェイラ監督が描く光と闇のパリ

イルミネーションのきらめくエッフェル塔にコンコルド広場の観覧車やメリーゴーランド、セーヌ川をゆっくりと進む遊覧船、街中のカフェやブティック…。美しく光に満ちたパリの風景がある一方で、オリヴェイラ監督は大都市パリに潜む危険な夜の世界も同時に描き出している。また、町並みとともにパリの風情を感じさせるのが、有名なシャンソン「パリの空の下」と「ミラボー橋」。また『クレーヴの奥方』では本人役でシューベルトを披露していたマリア・ジョアン・ピルシュによるショパンの《別れのワルツ》や、ワーグナーの《歌劇「ローエングリン」前奏曲》といったクラシック音楽も効果的に用いられている。

## 2001年カンヌ国際映画祭コンペティション部門正式出品作品

監督・脚本:マノエル・ド・オリヴェイラ/製作:ハヴロ・ブランコ/文芸顧問:ジャック・バルジ/撮影:サビーヌ・ランスラン/出演:ミシェル・ピコリ、カトリーヌ・ドヌーヴ、ジョン・マルコヴィッチ、アントワーン・シャペル、レオノール・シルヴェイラ、シルヴィー・テステル  
劇中劇: E.イヨネスコ(瀕死の王)、W.シェイクスピア(テンベスト)、J.ジョイス(ユリシーズ)  
劇中曲:ワーグナー 歌劇「ローエングリン」前奏曲、ショパン ワルツ 第9番 変イ長調「告別」(ピアノ:マリア・ジョアン・ピルシュ) / 「ミラボー橋」(詩:G.アポリネール、作曲:レオ・フェレ)、「パリの空の下」(作詞:ジャンドレジャック/作曲:ユベール・ジロー)  
2001年ポルトガル=フランス合作/90分/35mm/カラー/1:1.66ヴァイスタイズ/ドルビー-SR/配給・宣伝:アルシネテラン <http://www.alcine-terran.com>



# 4月ロードショー

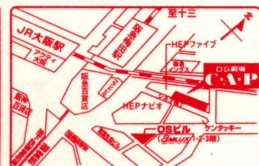
特別鑑賞券 一般¥1,300(税込)発売中!  
(当日 一般¥1,800/大・高生¥1,500のところ)

\*劇場窓口では<家路特製ポストカード>プレゼント付き。  
「家路」の情報は下記ホームページからもご覧頂けます。

梅田HEPファイブ東南カド シネマ横丁

OS 劇場 C.A.P

☎06(6311)2478



<http://www.osgroup.co.jp>